

令和 7 年度

津別町教育委員会
点検・評価報告書

令和 8 年 8 月

津 別 町 教 育 委 員 会

教育委員会の主な事務の管理・執行状況の点検・評価並びに 町議会への報告と町民への公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月より、全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないとされました。

点検及び評価を行うに当たっては、「教育に関する学識経験者を有する方の知見の活用を図る」ものとされ、点検・評価の具体的な項目や指標については、国で項目等は定めず、各教育委員会が実情を踏まえて決定し、議会や地域住民の指摘を受けて改善していくこととなります。

津別町教育委員会は、地教行法に基づき効果的な教育行政の推進を図るとともに、町民の皆さまへの説明責任を果たすため、教育目標に基づく主な施策・事業について点検評価を行い報告書としてまとめましたので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和8年8月

津別町教育委員会

目 次

教育委員会

1 教育委員会	1
(1) 教育長・教育委員名	
(2) 委員会開催状況	
(3) 条例・規則等の制定状況	6
(4) 委員の活動状況	7

学校教育

2 令和7年度予算の状況	8
(1) 学校教育関係費	
3 学校教育の推進	
(1) 小・中学校教育の推進	
① 学習補助員の配置	
② 就学援助費	9
③ 特別支援教育就学奨励補助事業	
④ 教材・備品購入経費事業	10
⑤ 語学指導助手事業	
⑥ 教育相談員の配置	11
⑦ 木育授業	
⑧ 学校保健事業	
(2) 高等学校教育の推進	
① 津別高等学校振興対策事業	12
② 津別高等学校地域別入学者状況	
③ 奨学金貸与状況	
(3) 学校給食の推進	14
① 学校給食センター運営委員会	
② 学校給食センター事業	
③ オール津別食材による給食提供	

社会教育

4 令和7年度予算の状況	15
(1) 社会教育関係費	
5 社会教育の推進	
(1) 社会教育・体育事業	
① 社会教育委員研修事業	
② 家庭教育事業	16
③ 少年期事業	
④ 青年期事業	17
⑤ 成年期事業	18

⑥	スポーツ推進委員研修事業	-----	19
⑦	各種大会事業		
⑧	スポーツ教室・講習会事業	-----	20
6	図書館事業の推進	-----	22
(1)	図書館事業		
①	図書館事業		
7	芸術文化の推進	-----	26
(1)	芸術文化事業		
①	芸術文化事業		
8	児童館の推進	-----	27
(1)	児童館運営		
①	児童一般利用状況		
9	放課後児童健全育成事業	-----	28
(1)	放課後児童クラブの状況		
①	放課後児童クラブ登録状況及び利用状況		
②	放課後子ども教室登録状況		
10	社会教育施設管理の推進	-----	29
(1)	社会教育施設管理事業		
①	社会教育施設営繕関係		
②	社会教育施設管理委託関係		
(2)	体育施設管理事業		
①	体育施設営繕関係		
②	体育施設管理委託関係	-----	30
③	体育施設管理備品関係	-----	31
11	スポーツ合宿実績	-----	32
	学識経験者意見	-----	33

教育委員会

1 教育委員会

(1) 教育長・教育委員名

職 名	氏 名	選 任 年 月 日	住 所	備 考
教育長	近 野 幸 彦	令和 4 年 4 月 1 日	達美 2 2 1 - 7	
代表委員 (職務代理者)	松 平 範 慶	平成 1 7 年 1 0 月 1 日	緑町 8	
委 員	松 田 真 理	平成 2 0 年 9 月 2 1 日	豊永 6 4 - 4 5	
委 員	金 田 美喜恵	平成 2 6 年 1 2 月 2 4 日	活汲 1 3 6	
委 員	鈴 木 健 二	令和 2 年 1 0 月 1 日	木樋 5 9 - 3	

(2) 委員会開催状況

期 日	出 席 委員数	付 議 案 件 等
R7. 4. 30	4	報 告・教育長の報告 ・ 寄附・寄贈品の報告 ・ 令和 6 年度津別町社会教育実績報告について ・ 令和 6 年度津別町図書館実績報告について 諮 問・津別町奨学生の選定に係る諮問について 議 案・教育長職務代理者の指名について ・ 津別町教育支援委員会委員の委嘱について ・ 令和 7 年度津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する世帯の認定について ・ 津別町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ・ 津別町奨学審査委員会委員の委嘱について ・ 津別町社会教育委員の委嘱について ・ 津別町スポーツ推進委員の委嘱について ・ 津別町学校運営協議会委員の委嘱について

期 日	出 席 委員数	付 議 案 件 等
R7. 5. 27	3	報 告・教育長の報告 ・ 寄附・寄贈品の報告について ・ 学校施設のボランティア（地域貢献活動）について ・ 令和 6 年度津別町立学校教職員に係る時間外在校等時間について ・ 台湾二水郷中学生交流事業（受入）について ・ 令和 7 年度津別町の社会教育事業計画について ・ 令和 7 年度津別町図書館事業計画について ・ 行政財産の許可について ・ 学校施設環境改善交付金事業について 議 案・令和 7 年度津別町の奨学生の認定について ・ 令和 7 年度津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する世帯の認定について ・ 津別町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 協 議・財産の取得について ・ 令和 7 年度津別町の教育について
R7. 6. 23	4	報 告・教育長の報告 ・ 寄附・寄贈品の報告について ・ 公設民営塾 Plus の状況について ・ 青少年交流事業（船橋市・南アルプス市）受入について ・ スポーツ合宿事業について ・ 給食費の口座振替の状況について ・ 給食費の滞納繰越について ・ 新給食センター稼働までのスケジュールについて ・ 新給食センター給食試食会について ・ 図書館開館 2 周年記念事業について
R7. 7. 22	3	報 告・教育長の報告 ・ 学校施設のボランティア（地域貢献活動）について ・ 令和 7 年度津別町特別支援教育就学奨励金補助について ・ 小・中学校 LED 化改修工事の実施について ・ 令和 8 年度主要事業について ・ スポーツ合宿事業について ・ 新給食センター試食会について

期 日	出 席 委員数	付 議 案 件 等
R7. 8. 27	4	報 告・教育長の報告 ・令和7年度全国学力・学習状況調査の結果公表について ・部活動バスの公募について ・青少年交流事業（南アルプス市・船橋市）の実施結果について ・図書館蔵書点検について ・図書館開館2周年記念事業黄昏コンサートの実施結果について 議 案・令和8年度使用小学校教科用図書の採択について ・令和8年度使用中学校教科用図書の採択について ・令和8年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）の採択について ・令和6年度津別町教育委員会点検・評価報告について ・津別町社会教育委員の委嘱について
R7. 9. 30	4	報 告・教育長の報告 ・寄附・寄贈品の報告について ・令和6年度津別町教育委員点検・評価報告について ・令和7年9月定例議会補正予算について ・スクールカウンセラー活用事業について ・外国語指導助手招致事業について ・つべつ紅葉マラソン大会参加状況について 議 案・教育長職務代理者の指名について
R7. 10. 29	4	報 告・教育長の報告 ・寄附・寄贈品の報告について ・令和8年度主要事業査定結果について ・部活動バス募集結果について ・第23回つべつ紅葉マラソン大会結果について ・社会教育施設の閉鎖について ・オールつべつ給食について 諮 問・心身に障がいをもつ児童生徒の教育支援に係る諮問について ・津別町奨学金制度の運営について 協 議・バス通学定期運賃補助事業について ・総合教育会議の開催について

期 日	出 席 委員数	付 議 案 件 等
R7.11.20	4	報 告・教育長の報告 ・ 寄附・寄贈品の報告について ・ 12月定例会議の予算補正について ・ 公設民営塾「Plus」中学生冬季体験会について ・ 議会の議員報酬並びに特別職の給与等について 答 申・津別町奨学金制度の運営について 議 案・津別町中学校部活動送迎バス運行に関する要綱の制定について 協 議・津別町奨学金条例の一部を改正する条例について ・ 津別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について ・ 教育委員会所管施設の開館時間について
R7.12.23	4	報 告・教育長の報告 ・ 寄附・寄贈品の報告について ・ 町外高校通学者へのバス補助について ・ 公設民営塾「Plus」中学生冬期講習会の申込み状況について ・ 複合施設（公設民営塾）の建設について ・ 冬季施設の開設について ・ 重点支援交付金を活用した取り組みについて ・ 第3回図書館まっりの開催結果について 議 案・津別町中央公民館条例施行規則の一部改正について ・ 津別町町民会館条例施行規則の一部改正について 協 議・北見ブロック教育委員研修会の開催について
R8.1.23	3	報 告・教育長の報告 ・ 寄附・寄贈品の報告について ・ 津別町・二水郷中学生交流事業について ・ 社会教育講座「さかなクン講演会」の実施結果について ・ 多目的運動公園パークゴルフ場の開場時間の変更について ・ 給食費の無償化について 議 案・令和8年度心身に障がいをもつ児童生徒の就学について ・ 津別高校就学支援補助要綱の一部改正について ・ 津別町温水プール利用者バス料金補助要綱の廃止について 協 議・令和8年度教育行政方針（素案）について

期 日	出 席 委員数	付 議 案 件 等
R8. 2. 25	3	報 告・教育長の報告 ・ 寄附・寄贈品の報告について ・ 津別町・二水郷中学生交流事業実施結果について ・ 3月定例議会補正予算について 諮 問・学校給食費の改正に係る諮問について 議 案・令和8年度教育行政方針の決定について ・ 津別町教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定について ・ 令和7年度津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する世帯の認定について ・ 津別町公の施設に係る指定管理者の指定について 協 議・令和8年度教職員着任式について
R8. 3. 25	4	報 告・教育長の報告について ・ 寄附・寄贈品の報告について ・ 令和8年度教職員（管理職・一般職）人事異動について ・ 令和8年度予算について ・ 令和8年度津別高等学校の入学予定について ・ 社会体育施設の開設予定について ・ 学校給食に対するアンケート結果について 答 申・学校給食費の改正に係る答申について 議 案・津別町学校給食に関する業務処理要領の一部改正について ・ 津別町第3子以降学校給食費免除実施要綱の廃止について
開催概要	・ 津別町教育委員会議は公開としており、原則として毎月1回開催している。内容としては、「地方教育行政の組織運営に関する法律」及び「教育委員会事務委任規則」、「津別町教育委員会会議規則」に基づき審議を行った。	

(3) 条例・規則等の制定状況

番 号		題 名	公布月日	施行月日
規 則	第 1 号	津別町少年補導委員設置規則を廃止する規則	R7. 3. 29	R7. 4. 1
	第 2 号	津別町体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則	R7. 3. 29	R7. 4. 1
	第 3 号	津別町学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則	R7. 3. 29	R7. 4. 1
	第 4 号	津別町中央公民館条例施行規則の一部を改正する規則について	R7. 12. 23	R8. 4. 1
	第 5 号	津別町町民会館条例施行規則の一部を改正する規則について	R7. 12. 23	R8. 4. 1
訓 令	第 1 号	津別町学校給食に関する業務処理要領の一部を改正する要領	R8. 3. 29	R8. 4. 1
告 示	第 1 号	第 1 回津別町教育委員会議の招集について	R7. 1. 9	R7. 1. 30
	第 2 号	第 2 回津別町教育委員会議の招集について	R7. 2. 10	R7. 2. 27
	第 3 号	第 3 回津別町教育委員会議の招集について	R7. 3. 13	R7. 3. 28
	第 4 号	第 4 回津別町教育委員会議の招集について	R7. 4. 9	R7. 4. 30
	第 5 号	第 5 回津別町教育委員会議の招集について	R7. 5. 7	R7. 5. 27
	第 6 号	第 6 回津別町教育委員会議の招集について	R7. 6. 6	R7. 6. 23
	第 7 号	第 7 回津別町教育委員会議の招集について	R7. 7. 4	R7. 7. 22
	第 8 号	第 8 回津別町教育委員会議の招集について	R7. 8. 13	R7. 8. 27
	第 9 号	第 9 回津別町教育委員会議の招集について	R7. 9. 18	R7. 9. 30
	第 1 0 号	第 1 0 回津別町教育委員会議の招集について	R7. 10. 14	R7. 10. 29
	第 1 1 号	第 1 1 回津別町教育委員会議の招集について	R7. 11. 13	R7. 11. 20
	第 1 2 号	第 1 2 回津別町教育委員会議の招集について	R7. 12. 10	R7. 12. 23
	第 1 3 号	津別町部活動送迎バス運行に関する要綱の制定	R7. 12. 10	R7. 12. 23

(4) 委員の活動状況

教育委員会議以外の活動状況（教育長を除く）

日 付	活 動 内 容	委 員 名
R7. 4. 4	教職員着任式	松平職務代理 松田委員 鈴木委員
R7. 7. 17	北海道市町村教育委員研修会	松平職務代理 松田委員 金田委員
R7. 12. 22	オホーツク管内市町村教育委員大会	松平職務代理 松田委員 金田委員 鈴木委員
R7. 12. 8	総合教育会議	松平職務代理 松田委員 金田委員 鈴木委員
R8. 1. 11	成人式	松田委員 金田委員
R8. 1. 28	北見ブロック教育委員研修会	松平職務代理 松田委員 金田委員 鈴木委員

学校教育

2 令和7年度予算の状況

(1) 学校教育関係費

(単位：千円)

項 目	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	増減 (A-B)	構成比 (%)
教育総務費	106,936	98,049	8,887	10.0%
教育委員会費	2,169	2,107	62	
事務局費	49,387	49,022	365	
義務教育振興費	11,533	11,291	242	
スクールバス 運行費	43,847	35,629	8,218	
小学校費	108,248	49,981	58,267	10.1%
学校管理費	70,390	31,319	39,071	
教育振興費	37,858	18,662	19,196	
中学校費	119,976	43,191	76,785	11.2%
学校管理費	88,071	24,261	63,810	
教育振興費	31,905	18,930	12,975	
保健体育費	734,725	489,881	244,844	68.7%
学校保健費	5,760	5,699	61	
学校給食費	728,965	484,182	244,783	
合 計	1,069,885	681,102	388,783	100.0

3 学校教育の推進

(1) 小・中学校教育の推進

① 学習補助員の配置（継続事業）

23,283千円

事業目的	・ 支援を必要とする児童生徒の個々に応じた支援体制を整備し、基礎・基本の学習定着を図る。
事業概要	・ 学習補助員及び臨時教職員を配置 □ 津別小学校（学習補助員のみ） H29：5名、H30：6名、R1：7名、R2：9名、R3：8名、 R4～6：7名、R7：8名 □ 津別中学校（学習補助員及び臨時教職員） H29～R2：学補1名、R3：学補2名、R4：学補1名・臨教1名、 R5～7：学補3名・臨教1名
成果と課題	・ 学習支援や個別対応が充実し、児童生徒の学習環境の向上と教員の負担軽減につながったが、人材確保が難しく、継続的な配置と支援の質の維持が必要である。

② 就学援助費（継続事業）

2, 366千円

事業目的	・経済的理由により就学が困難となる児童生徒の保護者に支援を行い、義務教育の機会均等を図る。					
事業概要	区分	援助品目	小学校		中学校	
	学用品費	文房具等	13人	146,344	12人	272,760
	通学用品費	靴・傘等	10人	21,754	7人	15,890
	新入学用品費	今年度入学者 事前未給付分 (靴・制服等)	新小1 0人	—	—	—
		次年度入学者分 (靴・制服等)	新小1 1人	64,300	—	—
			新中1 1人	81,000		
	校外活動費	交通費や見学科	5人	9,000	8人	14,315
	修学旅行費	旅行経費	0人	—	5人	286,990
	体育実技用具	体育実技用具等	5人	132,500	5人	190,150
	給食費	給食代	13人	400,000	12人	384,000
	クラブ活動費	部活動費	—	—	8人	183,406
	生徒会費	生徒会費	—	—	12人	7,200
	P T A 会費	P T A 会費	11世帯	31,750	11世帯	35,200
	卒業アルバム代等	卒業アルバム代	1人	13,750	4人	74,800
	合計			900,398		1,464,711
成果と課題	・経済的負担を軽減し、児童生徒が安心して教育を受けられる環境づくりに寄与した。 ・制度の周知を図るとともに、支援を必要とする世帯へ確実につなげる取組が必要である。					

③ 特別支援教育就学奨励補助事業（継続事業）

1, 376千円

事業目的	・町立小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に支援を行うことにより、特別支援教育の推進を図り、児童生徒の教育機会の均等を保障し、義務教育の円滑な実施に資する。
事業概要	・就学奨励補助として、学用品費、通学費、修学旅行費、体育実技用具費、新入学児童生徒学用品費、学校給食費を、毎年度国が定める国庫補助単価額と、学校及び教育委員会が徴収する額の1/2を保護者へ補助する。小学校費783千円、中学校費593千円

成果と課題	・特別支援教育を受ける児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、安心して学べる教育環境の確保につながった。 ・制度の周知と適切な案内を継続し、対象者が確実に利用できる体制づくりが必要である。
-------	--

④教材・備品購入経費事業

25,115千円

事業目的	・小中学校の教材・備品等の整備充実を図る。																										
事業概要	・津別小学校 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>金額（千円）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定教材消耗品</td><td>336</td></tr> <tr> <td>施設営繕・器具等修繕料</td><td>107</td></tr> <tr> <td>I C T機器修繕料</td><td>115</td></tr> <tr> <td>情報教材初期設定委託料</td><td>2,329</td></tr> <tr> <td>指定教材備品</td><td>365</td></tr> <tr> <td>情報教材備品</td><td>12,194</td></tr> </tbody> </table> ・津別中学校 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>金額（千円）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定教材消耗品</td><td>297</td></tr> <tr> <td>I C T機器修繕料</td><td>173</td></tr> <tr> <td>情報教材初期設定委託料</td><td>1,373</td></tr> <tr> <td>指定教材備品</td><td>549</td></tr> <tr> <td>情報教材備品</td><td>7,277</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金額（千円）	指定教材消耗品	336	施設営繕・器具等修繕料	107	I C T機器修繕料	115	情報教材初期設定委託料	2,329	指定教材備品	365	情報教材備品	12,194	区 分	金額（千円）	指定教材消耗品	297	I C T機器修繕料	173	情報教材初期設定委託料	1,373	指定教材備品	549	情報教材備品	7,277
区 分	金額（千円）																										
指定教材消耗品	336																										
施設営繕・器具等修繕料	107																										
I C T機器修繕料	115																										
情報教材初期設定委託料	2,329																										
指定教材備品	365																										
情報教材備品	12,194																										
区 分	金額（千円）																										
指定教材消耗品	297																										
I C T機器修繕料	173																										
情報教材初期設定委託料	1,373																										
指定教材備品	549																										
情報教材備品	7,277																										
成果と課題	・情報教材備品（タブレット）を更新し、I C T環境の充実と安定した授業運営につながるなど、学校教材備品の整備充実を図ることができた。 ・計画的な教材備品更新と適切な維持管理、効果的な活用の継続が必要である。																										

⑤語学指導助手事業（継続事業）

3,782千円

事業目的	・自治体国際化協会（CLAIR）を通して英語指導助手1名を招致し、児童生徒の英語能力向上、英会話を通してコミュニケーション能力や国際理解教育の推進を図る。
事業概要	・講師：ルーカス・ジョセフ・ウィリアム（アメリカ）R7.8.27～ ・内容：小中学校、高校での英語科授業及び国際理解教育等の支援
成果と課題	・着任後各学校等と打ち合わせを行い、派遣を実施。平成28年度から認定こども園での活動も加え、今後も小・中・高校と連携を図りながら効果的な学習活動の補助が必要である。 ・年度の途中ではあったが英語指導助手を選任し、児童生徒の国際理解教育を進めることができた。

⑥教育相談員の配置（継続事業）

2, 986千円

事業目的	・児童生徒や保護者、学校の困りごとを把握し、教育上の課題の整理と必要な支援について検討し、学校及び関係機関と連携しながら、児童生徒に寄り添いながら、より良い学校生活が送れるよう促すことを目的とする。
事業概要	・小学校に「ホッとする～む」、中学校に「サポートルーム」を開設しており、児童生徒や保護者、学校の困りごとなどの相談や対応を実施している。週5回実施（主に月・水・金…小学校、火・木…中学校）
成果と課題	・児童生徒や保護者が相談しやすい環境づくりができており、困りごとの早期対応に努めており、保護者の思いや児童生徒の状況を学校や関係機関と共有し相互理解を促進している。 ・相談業務については、一度の相談では終わらず継続的な見守りも必要であることから各学校への配置が望まれる。

⑦木育授業（継続事業）

929千円

事業目的	・町の特色ある学校づくりとして、木育授業を行い、林業、林産業に理解を深めながら、ふるさとに誇りを持ち心豊かな将来を担う人材を育成する。
事業概要	・津別小学校 講師：木育マイスター 萩原寛暢氏 3年生、5年生の各学年2時間×3回の授業。町有林に行き「天然林と人工林」の違いを観察、町内にある10種の木で作成した「木のタマゴ」を焼きペンで加工、自分だけの木のタマゴを作成する授業等を行う。 ・津別中学校 講師：（有）木 代表取締役 中井秀樹氏 1年生に2時間×3回の授業実施。「動く木のおもちゃづくり」をテーマに木工芸の考え方や作り方、動く仕組みの学習及び高度で安全な道具・工具の使い方の実技指導を行う。
成果と課題	・児童生徒の木への親しみや木の文化への理解を深め、人と木や森の関わりを自ら考えられる豊かな心を育み、環境への意識も高めた。

⑧学校保健事業（継続事業）

2, 292千円

検査項目		対象児童生徒	検査項目	対象児童生徒
内科検診 結核検診		全児童生徒	心臓検診(心電図)	小1・中1年生
歯科検診		全児童生徒	尿検査	全児童生徒
耳鼻科検診		小3・中1年生		
眼科検診(視力検査)		小1～小3年生	その他の学年：気になる児童生徒	
成果と課題	・児童生徒の疾病予防措置ができ、早期の治療を促すことができる。 ・児童生徒の発育や健康状態を把握し、日常生活を含めた保健指導や相談業務の対応を図られた。			

(2) 高等学校教育の推進

①津別高等学校振興対策事業

39,606千円

事業目的	・地域唯一の北海道津別高等学校の魅力向上と教育環境の充実を図るとともに、生徒の学習活動や進路実現を支援し、高校の存続及び地域の活性化につなげる。		
事業概要	- 平成8年より、地元唯一の高校の存続と特色ある教育活動のため、津別町振興対策協議会に対し支援を継続している。 - バス通学費、校納金、教科書費、制服費等の補助、国公立大学入学一時金の助成も実施し、公設民営塾による津別高校生、町内高校生への教育支援を行っている。		
	区 分	金額(千円)	備 考
	国公立大学入学一時金	600	H28～実施 R7:2名
	公設民営塾	21,917	R1.9～通年化
	公設民営塾 施設管理用備品	605	エアコン2台
	海外研修	4,276	参加者5名
	就学支援	8,708	バス通学費、校納金、制服、教科書等の補助
	振興対策協議会	3,500	生徒支援費、学校活動支援費広報活動費
	合 計	39,606	
成果と課題	- 町内中卒者数の減少等からH23年度より一悶口となり、H24年度から地域キャンパス校となったが、継続的な振興対策の取り組みが近隣の中学校や保護者にも認知されている。 - 今後も生徒の確保は厳しい状況が続くが、存続及び入学者の確保に向けて振興対策協議会への支援並びに町の支援を継続していく。		

②津別高等学校地域別入学者状況

年度	町内中学校 卒者数 (前年度卒業)	津別町 (A)	北見市	美幌町	他市町	入学者 (B)	入学者 地元率 (A/B)
3	14	3	6	2	0	11	27.3%
4	28	11	5	6	0	22	50.0%
5	19	9	11	2	0	22	40.9%
6	21	9	9	4	0	22	40.9%
7	31	6	8	3	0	17	35.3%

③奨学金貸与状況

事業目的	・教育機会の均等と教育振興を図るため				
事業概要	・教育機会の均等と教育振興を図るため奨学金を貸与する。 ・令和7年度は、新規4名、継続9名の合計13名に貸与を決定。 ・専修学校、高等専門学校(4～5年)、大学以上の学生に月額2万5千円 ・高等学校、高等専門学校(1～3年)の学生に月額1万円 ・返還期間は学校卒業翌年から10年以内に返還しなければならない。				
	貸与件数	貸与金額	貸与内訳	償還件数	償還金額
	13件	3,900千円	大学生:12名 専門学生:1名	24件	3,451千円
成果と課題	・貸付件数は例年同等で推移していることから、大学等の進学に際して活用され、有効な教育支援となっている。 ・近年の物価高騰に見合った貸与金額の上限額設定となっているか 経済・社会情勢・基金状況等を踏まえ、精査する必要がある。				

(3) 学校給食の推進

①学校給食センター運営委員会

40千円

期 日	出席委員数	付 議 案 件 等
R7.6.30	6	議案：令和6年度学校給食実績について 他3件 報告：給食費の銀行口座振替状況について 他4件
R8.3.12	5	議案：学校給食費の改定について 協議：学校給食における危機管理マニュアルの見直しについて 学校給食におけるアレルギー対応マニュアルの見直しについて
委員会概要	・本委員会は、給食センターの適正かつ円滑な運営を図るため、学校給食の基本的な事項および給食センターの運営等の協議を行う。	

②学校給食センター事業

728,925千円

事業目的	・安全で安心な学校給食の提供により、児童生徒の身体に必要な栄養を摂取し、あわせて日常生活における正しい食事等を身に付けさせるため学校給食を実施する。
事業概要	- 給食費：小学校240円、中学校276円（平成21年度改定） 小学校児童、中学校生徒は200円（令和5年度開始） 第3子以降の児童・生徒は免除（令和5年度開始） 高校237円（平成26年度開始） - 令和7年度給食提供数：356名（児童生徒281名・教職員等75名） - 給食主食の種類別週回数：米飯（3回）、麺類（1回）、パン（1回） - オーガニック牛乳の供給：平成21年度より週1回提供
成果と課題	・令和7年度に新しい津別町学校給食センターが完成し、夏休み明けより供用開始した。衛生面で格段の進歩を遂げており、より一層の安全・安心な給食提供が可能となった。

③オール津別食材による給食提供（上記②の内数）

360千円

事業目的	・全て地場産物の食材を使用することにより、子供たちが津別の食材及び学校給食に興味を持ち、郷土を愛する心の育成に寄与する。
事業概要	- 各主食（米、麺、パン）1回の計3回でオール津別産食材給食を提供 11月19日 スライスパン、かぼちのシチュー、 ヤーコンのコールスローサラダ、オーガニック牛乳 11月20日 つべつ牛丼、豆腐とじゃがいもの味噌汁、オーガニック牛乳 11月24日 肉野菜うどん、野菜うの花もちもちフライ、オーガニック牛乳
成果と課題	・給食センター発行の「食育だより」によりオール津別食材によるメニューを紹介し地産地消への理解や生産者に対する感謝の気持ちを学ぶ良い機会となった。今後も引き続き、地元の旬を迎えた食材用いて食育の推進を図る。

社会教育

4 令和7年度予算の状況

(1) 社会教育関係費

(単位：千円)

項 目	令和7年度	令和6年度	増 減	構成比(%)
社会教育費	85,394	72,908	12,486	37.0
社教総務費	2,802	3,272	△470	
社教振興費	16,299	15,652	647	
会館管理費	66,293	53,984	12,309	
保健体育費	145,042	263,545	△118,503	63.0
保体総務費	9,569	8,865	704	
体育施設費	135,473	254,680	△119,207	
合 計	230,436	336,453	△106,017	100.0

5 社会教育の推進

(1) 社会教育・体育事業

① 社会教育委員研修事業

事 業 名	実施時期	主 催 団 体	事 業 概 要
北見・斜網地区 社会教育委員研修会	R7.12.13	北見・斜網地区 社会教育委員 連絡協議会 管内社会教育 委員連絡協議 会	・研修テーマ「外国人住民と地域社会の共生」 ・講演「地域社会における外国人住民との共生にむけて」 ・グループワーク ・情報提供
オホーツ管内 社会教育振興セミナー	R7.11.29	管内社会教育 委員連絡協議 会	・研修テーマ「持続可能な社会の実現に向け、地域の可能性を引き出す学びをつくる社会教育のあり方」 ・基調講演「地域資源を教育資源として活用するには」 ・グループワーク「地域資源を活用して広域連携事業を組み立ててみよう」
成果と課題	・地域社会の一因として地域づくりに参加できる社会を目指すため、これからの社会教育をどう考えるか、研修では市町村委員間の意見や情報交換を行い、地元開催として運営を行った。		

②家庭教育事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
子ども芸術劇場	R7. 8. 29	教育委員会	・一般町民の親子を対象に芸術鑑賞事業を実施
成果と課題	・これまで家庭教育の中心を担っていた「ちびっこクラブ」が解散したことから、今年度からは別事業との連携により事業展開を行った。今後は、子育て支援センターや小さな子どもを持つ親からの要望を聞き、必要な事業展開を行っていききたい。		

③少年期事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
放課後児童クラブ	通 年	教育委員会	・昼間留守家庭等の児童の放課後や土曜日などの遊びや生活の場 ・ 6 0 名登録
放課後子ども教室 (子どもの居場所確保)	通 年	教育委員会	・放課後や土曜日などに子どもの居場所を設け、学習、体験、交流等をする事業 ・ 4 3 名登録
放課後子ども教室 (体験事業)	通 年	教育委員会 役場林政係 J A つべつ 北海道オール・ オリンピックズ	・土日や長期休日を活用して自然、文化、スポーツ、農業などの体験を中心とした事業 ・全 1 9 回、6 1 名登録 延べ 3 9 1 名参加
船橋市青少年交流事業(受入)	R7. 8. 3～6 (3泊4日)	船橋市青少年交流実行委員会	・同年代の子どもたちの交流等を通して親睦を深め、異文化体験や郷土愛の育成を図る事業 ・津別町参加者：小学生 2 0 名、高校生ボランティア 4 名 ・船橋市参加者：3 8 名 ・歓迎会、網走川体験プログラム ・周遊観光、交流プログラム
南アルプス市青少年交流事業(受入)	R7. 7. 24～26 (2泊3日)	南アルプス市青少年交流実行委員会	・同年代の子どもたちとの交流会等を通して友好姉妹都市との親善を深める事業 ・津別町参加者：小学生 1 9 名 高校生ボランティア 3 名 ・南アルプス市参加者：2 5 名 ・歓迎会、かわ塾、農業体験 ・道の駅あいおい散策

成果と課題	・安心・安全な放課後や休日の子どもの居場所を設けることができた。親の就労率が高く、児童全体数が減少している中でも登録児童は横ばいであり、安全確保のための指導員不足や施設の老朽化が大きな課題である。 ・交流事業も再開しコロナ禍で存在が薄れていた時期もあったが、継続により事業の認知度が向上し、参加希望者が増加傾向にある。都市部の良さ、津別町の良さを感じ知見を広げることができ、親元を離れての集団生活により参加者自身の成長に大きく貢献している。
-------	---

④青年期事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
高校生ボランティアサークルひまわり	通 年	教育委員会	・町内高校生及び津別高校生を対象に自主事業の企画運営、地域参画などから経験と学びを得る事業 ・メンバー 6 名 ・定例会 9 回、自主事業 4 回、社会教育事業 6 回、他団体協力 1 回
青年活動プロジェクト and	通 年	教育委員会	・町内の異業種の青年たちが集い、交流を深め、地域参画し、町内の青年たちの居場所とまちづくりに寄与する事業。メンバー 14 名 ・定例会 11 回、自主事業 6 回、内部交流 1 回、他団体協力 3 件
成果と課題	・高校生は、部活や講習など忙しい中、児童館訪問をはじめ多くの事業を実施することができ、達成感ややりがいにつながっている。引き続き、地域とのつながりから学びを深める活動の支援をする。 ・青年団体は久しぶりに異業種交流会を開催することができ、メンバーや参加者が団体活動の意義を再確認できた。しかしマンネリ化した事業や参加メンバーの固定化など改善点も多く見えた。今後も異業種同年代との交流を通して地域活動へ参画していく。		

⑤成年期事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
社会教育講座	通 年	教育委員会	・町民の生活文化を高める事業 ・「南極での氷雪研究」 寿大学生 38 名、一般 2 名 ・「佐藤久佳氏講演会」 寿大学生 28 名参加 ・「桂三段独演会」 寿大学生 36 名、一般 9 名 ・「さかなクン講演会」 近隣住民 229 名 ※寿大学やオリンピック事業と連携
大人の体験事業	通 年	教育委員会	・子どもたちだけではなく、地域の人々が津別の良さを体感し、地域の活性化や指導者の育成を図る事業 ・「カヌー体験」4 名参加 ・「もちつき」2 名参加 ※放課後子ども教室アソビバ！つべつ、オリンピック事業と連携
高齢者大学 (寿大学) 講座	通 年	教育委員会	・高齢者が持っている能力や経験を活かしながら、現代社会に対応する生活課題の学習、研修とクラブ活動を通して、社会参加の拡充を図る事業 ・全 16 講座、学生 51 名 延べ 682 名参加
社会教育人材バンク「まなび～ぷる」	通 年	教育委員会	・地域の人々の力で社会教育の促進を図るとともにボランティア活動をととして地域の教育力の向上に寄与する事業 ・登録団体 15 団体、個人 8 名 ・着衣泳体験会共催 水泳協会 ・生活体験通学合宿での夜間レク講師 社交ダンス同好会、個人 1 名 ・アソビバ！お泊り会でのレク講師 個人 1 名

成果と課題	・高齢者大学は、様々な学習の機会を提供することができた。久しぶりに新入生も多く入学し、共に学びあう仲間たちと楽しく参加することができ交友を深め、新しい分野にもチャレンジできる内容の充実を図りたい。 ・生活課題、鑑賞、自然体験など幅広い分野で講座を実施することができた。町民の多様化するニーズに対応し、学びを深めたり活動の活性化につながる講座を展開する。
-------	---

⑥スポーツ推進委員研修事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
北見・網走ブロックスポーツ推進委員研修会	R7.6.4	北見・網走ブロックスポーツ推進委員連絡協議会	・講演「オリンピックから子供の成長を学ぶ」 ・実技「オリンピックから学ぶ運動講座」
オホーツク管内社会体育振興セミナー	R7.11.15	管内スポーツ推進委員連絡協議会	遠紋ブロックスポーツ推進委員等研修会を兼ねる。 ・功労者表彰 ・講演「スポーツの未来と次世代へのつなげ方」 実技「地域住民向けの体力づくりプログラムの実践」
成果と課題	・新しい運動や健康について学びが深まり、他市町村委員との情報交換や交流ができた。		

⑦各種大会事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
紅葉マラソン大会	R7.10.5	つべつ紅葉マラソン大会実行委員会	・スポーツを通じた友好の絆を深め、健康の増進と体力の向上を図ることを目的とした事業 ・10k、5k、3kのコース。カレーライスの提供、抽選会、表彰を実施 ・272名参加
スケートイベント	R8.1.17	教育委員会	・レッスン・記録会・リレー 講師：藤村祥子氏 町民36名参加

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
スキーイベント	R8.1.31	教育委員会	・自然環境を生かした冬季スポーツに親しみ、町民相互の交流を図るとともに、健康促進に対する意識の高揚を図る事業 ・講師：川端絵美氏（札幌市） ・フリーレッスン ・デュアルレース ・じゃんけん大会 ・町民25名参加
成果と課題	・近年スケートリンクの造成やスキー場のゲレンデ維持に苦慮しているが、津別の四季を感じながら誰もが気軽にスポーツに親しむことができる機会の提供ができた。		

⑧ スポーツ教室・講習会事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
少年少女水泳教室	R7.7.29～31	教育委員会	・四季に応じた各種スポーツを通して、少年期に適した運動を行い、体を活発に動かすことの必要性和スポーツの生活化を図る事業 ・小学生11名参加（初心者向け） 延べ31名参加
少年少女体力測定会	R7.5.17 R7.12.13	教育委員会	・体力増進度チェックとトレーニングの動機付けを図る事業 ・小学生23名、36名参加
少年少女スケート教室	R8.1.14～15	教育委員会	・四季に応じた各種スポーツを通して、少年期に適した運動を行い、体を活発に動かすことの必要性和スポーツの生活化を図る事業 ・小学生18名延33名参加
ジュニアスキー講習会	R8.1.30	教育委員会	・アスリートによるスポーツ教室を通して、スポーツの楽しさや魅力を伝え、興味関心や積極的にスポーツに親しむ意欲を高め、体力向上を図る事業 ・スキー基礎技術指導 ・小学生28名参加

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
オリンピック事業	R7.7.18 R8.2.21	教育委員会	・アスリートによるスポーツ教室を通して、スポーツの楽しさや魅力を伝え、興味関心や積極的にスポーツに親しむ意欲を高め、体力向上を図る。また、親子のコミュニケーションや子育ての課題解決について親子で学び、子どもがスポーツに親しむ機会の促進を図る事業 ・寿大学講演会 講師：佐藤久佳氏 28名参加 ・水泳教室 講師：佐藤久佳氏 小学生29名、保護者15名参加 ・スノーボード教室 講師：松本遥奈氏 11名参加
水中エアロビクス教室	R7.5.15～ 6.26 計7回	教育委員会	・水とスポーツに親しみながら体力づくりの生活化を図る事業 ・専門指導者によるアクアビクス教室 ・講師：横尾早苗氏（北見市） ・一般成人14名、延べ63名参加
健康づくり教室	R7.5.16～ 6.13 R7.11.11～ 12.9 R8.2.3～3.3 各5回	教育委員会	・体力づくり、健康づくりへの意識の高揚と運動の習慣化を図る事業 ・講師：田邊かおり氏・小林ひろ子氏 ・5月：ボールエクササイズ&ひめトレ延べ31名 ・11月：シェイプボックス&ユニバーサルヨガアース延べ43名 ・2月：体幹トレーニング&ダンベル運動延べ58名
着衣水泳体験会	R7.6.13	教育委員会 水泳協会	・着衣のまま水に入り、泳ぎ方などを学び、水難事故に備える事業 ・21名参加

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
スポーツ推進事業	R7.8.8 R7.9.3	教育委員会	・スポーツ合宿に訪れた選手に指導してもらい、町内の学生や指導者のレベルアップを図るとともに交流を深める事業 ・8月：バスケットクリニック 講師：大阪産業大学 小中学生17名参加 ・9月：ラグビー体験会 講師：浦安 D-Rocks 小学生35名
グレステンスキー講習会	R7.8.31	教育委員会	・グレステンスキーの普及と利用促進を目的に、少年団や指導者のスキー技術の向上を目指す 講師：高橋生季氏 小学生1名、大学生22名参加
成果と課題	・ライフステージに合わせた運動、スポーツに親しむ機会を多く提供することができた。また、定期的を開催することにより運動の習慣化や継続につなげることができた。教室は健康維持・増進に留まらず、仲間同士の交流の場ともなっており、心身ともに健康で元気な生活を営む動機付けにつながっている。 ・様々なアスリートからスポーツの面白さやすごさを学ぶことができた。する、みる、だけではなく、知ることもでき、年代に合わせたスポーツに親しむ機会にすることができた。		

6 図書館事業の推進

(1) 図書館事業

① 図書館事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
絵本ふれあい事業 ブックスタート事業	通 年	教育委員会	・乳幼児健診時に6ヶ月乳児の保護者に対し、絵本等を提供し、絵本を通じて親子の絆を深めることの大切さを伝える事業 ・絵本ふれあい（親子） 延べ134名 ・ブックスタート（親子） 延べ14名

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
ブックセカンド事業	R8.3.5	教育委員会	・絵本を通して親子で本に親しみ、日常的な読書の推進につなげる事業 ・新1年生となる年長の子供たちに絵本を贈呈する ・年長19名
移動図書配本事業	通 年	教育委員会	・多くの本に触れる機会を増やし、感性豊かな心を育むことを目的とした事業 ・小中学校、認定こども園、児童館、ケアハウス、ののか、デイサービス、キノスに定期的に配本している。
図書館開館記念事業	R7.7.12	教育委員会	・開館2周年記念コンサート（北見室内管弦楽団による地域貢献事業） 50名
映画上映会	通 年	教育委員会	・図書館の来館促進。作品の原作を所蔵しており、読書推進も図る。 第三木曜日 93名 第三土曜日 35名 計 128名
スタンプをあつめてこども図書館長をめざそう	通 年	教育委員会	・読書への興味関心を高め、本に親しむ時間を増やし、読書活動の推進と図書館利用促進を図る。 ・貸出・図書館イベントに参加してスタンプを集める。 ・総参加人数 98名 （こども司書達成者 47名） （こども館長達成者 28名）
こども読書週間	R7.5.～5.31	教育委員会	・子どもが読書に親しみ、読書の楽しさ知るきっかけづくりを図る。 ・ガチャ本（41名）、セルフ撮影会（68名）、読書ビンゴ（26名）、映画上映会（4名）、おはなし会（7名）を実施。また「国際アンデルセン賞の本」展示

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
読書チャレンジ (感想文・ポップ・画)コンクール	R7.6～R7.12	教育委員会	・読書離れが進んでいる現代社会で、本への関心を深め読書普及の推進を図る事業 ・町内の小中学生を対象に、読書感想文・ポップ・感想画を募集し、その中から優秀作品を表彰する。 ・小学生 48名応募 ・中学生 4名応募
秋の読書週間事業	R7.10.18	教育委員会	・読書週間に講演会を開催し、本を通じた学びや交流の機会を提供する。 ・「二胡と朗読の調べ」(出演：福本ゆめ氏ほか) 28名
図書館まつり	R7.12.7	教育委員会	・本に対する様々なふれあいを通して、本に親しむとともに参加者同士の交流を図る。 ・古本市、読書チャレンジコンクール表彰式、RECつべつりコーダーボランティアミニコンサート、図書館でナゾトキ、クリスマスツリーを飾ろう！ 240名
こども工作会	R7.8.30 R8.1.17	教育委員会	・子どもの読書活動を推進し、読み聞かせと工作を通じて本に親しむ機会を提供するとともに、図書館利用の促進と異年齢間の交流を図る。 8/30 子ども9名・大人5名 1/17 子ども4名・大人6名
ぬいぐるみおとまりかい	R8.2.14～15	教育委員会	・ぬいぐるみを通じて、子どもたちが図書館や絵本に親しむ機会を提供する。 ・おはなし会 20名 ・おとまりかい 18名

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
七夕飾り	R7.7.1～8.7	教育委員会	・季節の行事に親しみながら、新たな本との出会いを提供し、読書推進と図書館利用の促進を図る。 ・短冊記入、閲覧 170名 ・短冊記入 118名
読書活動 (特集・展示等)	通年(テーマ展示) 随時(企画展示)	教育委員会	・四季や時事などに合わせた図書展示や、家読(よむ日のススメ)を推進し、読書の日常化を図る事業 ・季節や行事、話題に合わせた展示を実施し、年間44テーマを展開 ・「えがしらみちこ絵本パネル巡回展『いまのきもちはどうなってる?』」 来場者 80名 ・津別年表～津別の中学校編～ 来場者 179名 ・「八鍬優音さんの卒業展示」協力に関する事業(津別史の舞台裏～2つの地域新聞が残した町の記憶～) 来場者 130名 ・テーマに沿ったオススメ本を3冊入れた福袋「貸出用本の福袋」 26セット貸出 ・子ども用おみくじガチャ本(ぼん) 200冊貸出 55名利用 ・「オリンピックへの軌跡展ー世界を舞台に歩むクロスカン트리ースキーヤーの記録ー」 来場者 420名
読み聞かせ「おはなしポケット」	毎月1回	教育委員会	・絵本の読み聞かせを通して、読書に親しみ、ふれあいの機会を提供する ・図書館 全11回 計133名 ・ケアハウス 全12回 計56名

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
学校巡回司書	通 年	教育委員会	・子どもの読書活動の推進及び学校図書室の活性化を図る事業 ・小学校 151 回、中学校 66 回訪問
成果と課題	・「こども図書館長をめざそう」など、子どもの読書活動を推進する事業を実施し、児童書の貸出冊数の増加につながった。 ・季節や時事に合わせた図書展示に加え、町内出身大学生の卒業研究成果を紹介する展示やオリンピックトロフィー展など、地域にゆかりのある展示を実施し、来館や読書への関心を高める機会を創出した。 ・映画上映会やコンサートなど、多様な事業を継続して実施し、図書館利用の促進につながった。 ・子どもから大人まで幅広い世代の利用促進を図るため、魅力ある展示や読書推進事業を継続し、さらなる利用の定着を図る必要がある。 ・基本理念である「出会い・集い・人がつながる自分たちの図書館」の実現に向け、読み聞かせや各種事業を支えるボランティアの確保・育成を進める必要がある。		

7 芸術文化の推進

(1) 芸術文化事業

① 芸術文化事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
第28回日本フィルセミナー 第38回日本フィルこども芸術の広場	R7.9.5～7	津別町民芸術劇場 教育委員会	・道内外のアマチュア奏者の基礎学習の場と地元中学生の技術指導、町民に生のクラシック音楽の鑑賞機会を提供することにより、地域の振興を図る事業 ・セミナー受講生 58 名、クリニック 32 名 ・コンサート入場者 92 名
子ども芸術劇場	R7.8.29	教育委員会	・児童館の小中学生に対して優れた芸術鑑賞の機会を提供し、豊かな情操の涵養を図る事業 ・ピエロと恐竜のスーパーサーカス」(株)日本芸術教育振興会 ・児童館児童 86 名、一般親子 14 組 28 名

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
青少年移動芸術劇場（中学校）	R7.9.8	教育委員会	- 優れた舞台芸術を鑑賞する機会の提供と、青少年の豊かな情操の涵養を図る事業 - 歌唱「三塚直美ソプラノコンサート」（公財）日本青少年文化センター - 中学生93名、教諭16名
青少年芸術劇場（小学校）	R7.9.16	教育委員会	- 優れた舞台芸術を鑑賞する機会の提供と、青少年の芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養を図る事業 - 演劇「めっきらもっきらどおんどん」（有）劇団風の子北海道 - 小学生144名、教諭20名
第17回つべつリコーダーセミナー	R7.10.25～26	津別町民芸術劇場 教育委員会	- 全国のリコーダー愛好家が参加し、講師から基礎から合奏法のレッスンを受け、音楽的な向上を目指すとともに音楽を愛する町民との絆を深める事業 - セミナー受講生35名、学校2校8名 - コンサート入場者35名
芸術鑑賞事業	実施無し	教育委員会	隔年実施
成果と課題	- 様々な対象、ジャンルの鑑賞事業が開催され、芸術に触れる機会を多く提供することができ、生の演奏等を肌で感じ、心を動かす体験の場となった。子ども芸術劇場では、家庭教育事業と連携し一般市民の親子にも多く参加いただき、芸術を届けることができた。 - 日フィルやリコーダーセミナーは長年続けている事業だが、コンサートの入場者は年々少なくなっている。事業の継続も含め内容を再検討する時期に来ている。		

8 児童館の推進

（１）児童館運営

①児童館一般利用状況

利用区分 利用状況	児童クラブ	一般児童利用	乳幼児・保護者 地域住民等
年間利用総児童数	8,326人	3,270人	82人
1日平均利用人数	28.7人	11.3人	0.3人
事業概要	「あたたかく、安全で安心できる居場所」として、小中学生の健全で楽しい遊び場を提供し、子どもたちの心と身体の健やかな育成を図る。		

成 果 と 課 題	・多くの児童が気軽に利用でき、遊びの充実や安心安全な子どもの居場所、生活の場となるよう保護者と連携して運営していく必要がある。 ・行事やイベントが復活し、子どもたちの活動の充実を図ることができた。 ・利用者が増えたことにより、指導員不足が課題となっている。また施設の老朽化も著しいことから、建替えも検討する必要がある。
-----------	---

9 放課後児童健全育成事業

(1) 放課後児童クラブの状況

①放課後児童クラブ登録状況及び利用状況（対象児童：小学生）

	学区 児童数	登録 児童数	加 入 割 合	1 日平均 利用人数	年間利用 総児童数
学区児童数	1 4 5 人	6 0 人	4 1 %	2 8 . 7 人	8 , 3 2 6 人
事 業 概 要	・保護者が仕事のため昼間、家にいない児童に対して放課後の適切な遊び及び生活の場を提供して、児童の健全育成を図る。 ・次世代を担う児童が、心豊かで健やかに育まれるよう、体験・学び・異世代交流・遊び・生活の場を提供する。				
成 果 と 課 題	・子どもたちの安心で安全な生活の場としてのクラブ運営ができた。様々な分野の遊びもできるようになり、充実した活動と環境を整えることができた。また、保護者の理解を図ることができた。 ・保護者の就労による放課後児童クラブ登録者が年々増加しており、指導員の確保が課題となっている。また、施設の老朽化も著しいことから立替も検討する必要がある。				

② 放課後子ども教室登録状況

コース名 登録 児童数	自然文化	チャレンジ キッズ	緑の少年団	農業体験・ だいち	アソビバ・ つべつ
津別小・中	「アソビバ・つべつ」に統合				6 1 人
事業概要	・放課後や週末を利用し、子どもたちの居場所づくりの一環で様々な体験活動を提供する事業。津別町をより知ってもらうため、あらゆるフィールドを活用して年間約20回程度実施している。 ・子どもだけではなく親子で参加できる事業を地域で活動している団体ボランティアに指導をいただき、地域の方から学び・交流を深める事業を展開し、参加者も指導者も地域全体で楽しみ、郷土愛を高める。				
成果と課題	・年齢に合わせた様々なプログラムが展開できた。 ・地域の人や資源を通して津別のすばらしさ、学び、経験値、価値を広げる機会となった。また、親子の体験は、親子のコミュニケーションの構築や共通体験と共感につなげることができた。 ・児童クラブとも連携を図り、子どもの居場所や活動の場を広げたい。 ・事業内容のマンネリを解消し、新たな事業内容を調査研究する。				

10 社会教育施設管理の推進

(1) 社会教育施設管理事業

① 社会教育施設営繕関係

(単位：千円)

工 事 名	事業費	工 事 概 要
中央公民館研修室エアコン取付工事	1, 9 8 0	エアコン新設
町民会館大会議室床改修工事	5, 6 1 0	床シート張替
児童館暖房機器取替修繕	2, 0 8 5	暖房機器の更新

② 社会教育施設管理委託関係

(単位：千円)

委 託 事 業	委託料額	委託先	委 託 概 要
中央公民館管理	1 3, 6 8 9	(株) 津別町 振興公社	・施設管理、清掃、特別清掃
町民会館管理	8, 6 3 3	(株) 津別町 振興公社	・施設管理、清掃、特別清掃
児童館管理	1, 1 2 5	(株) 津別町 振興公社	・清掃、特別清掃
食品加工センター管理	7 4 4	(株) 津別町 振興公社	・施設管理、清掃

③ 社会教育施設管理備品関係

(単位：千円)

備 品	購入額	概 要
一般室用土俵	5 2 8	経年劣化による更新購入
町民会館 調理研修室エアコン	2 1 9	新規購入
ノート型リッチクライア ント	2 1 9	経年劣化による更新購入
放課後児童クラブタブレ ット一式	3 5 1	コドモン導入に伴う機器購入
児童館 机、イス	8 2 6	経年劣化による更新購入

(2) 体育施設管理事業

① 体育施設営繕関係

(単位：千円)

工 事 名	事業費	工 事 概 要
多目的運動公園 A グランド芝生張替修繕	1, 0 2 3	芝生の張替修繕

工 事 名	事業費	工 事 概 要
温水プール 塩素センサー取替修繕	4 0 1	経年劣化に伴う取替修繕
温水プール 空調Vベルト交換修繕	4 0 1	経年劣化に伴う交換修繕
体育施設トイレ改修工事	8 , 2 5 0	トイレ洋式化工事

②体育施設管理委託関係

(単位：千円)

委 託 事 業	委託料額	委託先	委 託 概 要
多目的 運動公園管理	4 2 , 7 9 0	(株)津別町 振興公社	・芝生管理、除草、清掃、受付業務等
温水プール 施設管理	6 , 5 3 4	(株)津別町 振興公社	・プールの清掃、施設管理、プール監視等
スケートリンク 造成・管理	2 , 0 3 7	(株)津別総合 管理センター	・造成業務、管理業務
ファミリー スキー場管理	2 , 3 7 6	(株)津別町 振興公社	・ファミリースキー場の管理、リフトの運行、管理着雪ネットの設置、撤去及びロッジ周辺、リフトコースの除雪
体育施設等管理	8 , 2 3 9	(株)津別町 振興公社	・本岐地区多目的公園、達美野球場、修武館、農業者トレーニングセンター芝生管理、除草、清掃、整地等
トレーニング センター管理	7 , 9 7 3	(株)津別町 振興公社	・施設の管理業務（利用受付、電話、その他施設管理に関する業務）
グレステン スキー場管理	4 2 9	(株)津別町 振興公社	・施設の利用、設備の維持管理等

③ 体育施設管理備品関係

(単位：千円)

備 品	購入額	概 要
多目的運動公園 サッカーゴール	8 7 5	経年劣化による更新購入
多目的運動公園 芝刈機 3 連リールモア	6 , 4 9 0	経年劣化による更新購入
多目的運動公園 電動ライン引器	4 1 6	経年劣化による更新購入
農業者トレーニングセン ター 同時印刷式券売機	8 6 4	新規購入

11 スポーツ合宿実績

令和7年度 スポーツ合宿受入実績

2025/10/24現在

チーム名	IN	OUT	選手	スタッフ	マネ	計	泊	日	泊延人	延人員	競技種目	宿泊先
訓子府KL野球少年団	5月3日	5月4日	16	6	0	22	1	2	22	44	野球	でてこい
札幌厚別高校サッカー部	8月4日	8月8日	23	2	3	28	4	5	112	140	サッカー	交流館
旭川明成高校女子野球部	8月5日	8月7日	21	3	0	24	2	3	48	72	野球	でてこい
帯広工業高校ラグビー部	8月8日	8月10日	16	4	1	21	2	3	42	63	ラグビー	でてこい
北見工業高校ラグビー部	8月8日	8月9日	15	3	1	19	1	2	19	38	ラグビー	nanmo-nanmo
大阪産業大学バスケットボール部	8月7日	8月9日	25	3	2	30	2	3	60	90	バスケット	GYUGYU-TTO
札幌工業高校バスケットボール部	8月8日	8月8日	16	2	0	18	0	1	0	18	バスケット	日帰り
名城大学ラグビー部	8月12日	8月22日	66	4	0	70	10	11	700	770	ラグビー	GYUGYU-TTO
帯広畜産大学スキー部	8月30日	9月1日	22	0	0	22	2	3	44	66	スキー	でてこい
浦安D-Rocks	8月31日	9月5日	51	26	0	77	5	6	385	462	ラグビー	GYUGYU-TTO
オホーツクベースボールクラブ	9月13日	9月14日	18	3	0	21	1	2	21	42	野球	交流館
日本ろう者スキー協会	9月12日	9月15日	11	6	0	17	3	4	51	68	スキー	GYUGYU-TTO
NAOKIスキーチーム	9月17日	9月21日	21	2	0	23	4	5	92	115	スキー	交流館
チームK's	9月27日	9月28日	14	7	0	21	1	2	21	42	スキー	交流館
フェニックスメムロ	10月11日	10月12日	5	2	0	7	1	2	7	14	スキー	GYUGYU-TTO
						0						
						0						
						0						
						0						
						0						
計		15	チーム			420			1,624	2,044		

★…新規チーム

【R6年度】18チーム

388人

1,300人

1,688人

成 果 と 課 題

- ・道外からの合宿受け入れも戻り、7年ぶりにラグビーのプロチームの合宿が実施された。
- ・今後においても道内・道外、種目別、時期を重ねないよう施設を有効活用した合宿誘致活動に力を入れていきたい。

学 識 経 験 者 意 見

教育相談員 安 田 貢

令和 7 年度教育行政方針及び点検評価報告書に基づき説明を受け、考え方や各事業等について感じたことを述べさせていただきます。

教育委員会議については、従前通り開催し、関係例規・規則等の改正、児童生徒の学力向上を図るための環境構築について議論され、津別町の教育方針に則り、その具現化に向けて取り組まれています。

学校教育では、日々の学校教育活動や学校行事等において、児童生徒が校内外で伸び伸びと笑顔で活動する様子が見られます。

津別町では、支援を必要とする困り感のある児童生徒への個々に応じた学習支援や個別対応を行うため、学習補助員を小学校に 8 名、中学校に 3 名配置し、さらに中学校には町採用の臨時教職員 1 名を配置するなど、児童生徒の学習環境の向上と支援体制の充実が図られています。

また、なかなか学校に登校できなかったり、登校しても学級に入りずらさを感じる児童生徒への支援のため、小中学校内に校内教育支援センターとして小学校「ホッとる～む」、中学校「サポートルーム」をそれぞれ開設し、児童生徒への学習支援、居場所づくり等が進められています。

教材・備品購入については、小中学校の要望を踏まえて、情報教材備品(タブレット)が更新され、I C T 環境の充実と安定した授業運営が図られています。また、各教科の教材の購入について、町当局の理解のもと児童生徒の教育環境が整備充実されています。

木育事業は、津別町の特色を生かした独自事業であり、小中学校の授業計画に位置付けられており、「愛林のまち」を宣言している木のまち津別町に生まれ育った子ども達が、木の文化に対する理解を深め、自然やふるさとを大切にする心を養う体験活動を実施しています。児童生徒が木育授業を通して木への親しみや豊かな心を育むことが大いに期待できます。今後も継続して実施していただきたいと思います。

津別高等学校振興対策事業については、町内外の生徒確保を念頭に、生徒の将来の夢や希望を実現するための魅力ある学校として津別高等学校の特色ある教育活動が定着しつつあります。また、個別指導で一人ひとりの進路をサポートする公設民営塾では基礎基本の復習から就職試験、国公立大学等の大学受験対策までの教育支援を行っており、令和 7 年度国公立大学への合格者を 2 名輩出できたことは大きな成果と言えます。

学校給食の推進では、児童生徒へのアンケートの実施や学校給食センター運営協議会との協議を踏まえるとともに、町内生産者と連携したオール津別食材による給食を継続し、地場産品への理解と生産者への感謝の気持ちを育む食育の充実に期待しています。

また、新学校給食センターが完成し、今後も給食センターの運営方式を含め、児童生徒へのより一層の安全・安心な学校給食の提供を期待しております。

社会教育の推進では、幼少期から高齢期までの各年代を対象に、生涯にわたって学び続けることができるよう、社会教育活動、スポーツ活動、文化活動に参加できる場を提供し、各種講座の開設やその充実に努められています。

社会教育・体育・スポーツ事業は、就学前幼児から高齢者まで様々な取り組みが行われており、スポーツ・文化に親しむ事業や福祉など関係機関との連携した事業等、今後も幅広い年代の方々が参加できる事業を期待しています。

図書事業の推進については、新図書館が開館以来、既存事業の拡大や新規事業を展開するなど来館促進と読書推進に努めています。特に読書活動を推進する各種事業を企画・運営し、様々な事業と読書活動を連動させ、子どもから大人まで各年代の利用促進が図られています。今後も図書館が多くの人と本の出会いの場所となることを期待しています。

移動図書配本事業は、小中学校をはじめ、認定こども園、児童館、ケアハウス、ののか、デイサービスなど各施設で行われ、本に触れる良い機会になっています。今後とも継続と拡大を期待します。図書館司書職員が定期的に小中学校を巡回することにより、学校図書室の環境整備や学校と連携して家読（よむ日のススメ）を家庭・地域に奨励してきました。読書推進活動の一層の推進で読書の日常化が図られていました。

芸術文化の推進については、クラシック音楽の技術指導、鑑賞機会や、小中学校との連携した舞台芸術を鑑賞する機会などの提供により、青少年の芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養が図られていると感じています。今後も町民に魅力的で質の高い素晴らしい芸術・文化に生で触れる機会を創出してほしいと思います。

児童館の推進及び放課後児童健全育成事業について、より多くの児童が利用できるように活動の充実と環境整備が行われています。

児童館は、子ども達が放課後や土曜日、長期休業中に安全で安心かつ有意義に過ごせる遊び場としてだけではなく、ほっと一息つける憩いの場でもありますので、利用者が増加傾向にあります。安全面を十分に考慮するとともに、小学校との連携を密にした取り組みも検討していただきたいと思います。